

## 福祉用具の利用に関わる事故・ヒヤリハット事例 報告シート

## 1. 報告者 (該当項目に○をつけてください)

事業所名		氏名	
職種・役職	事業所長（責任者） その他管理職（ リーダー・部門責任者 担当者	資格	福祉用具専門相談員 作業療法士・理学療法士等セラピスト 介護支援専門員 その他（

## 2. 福祉用具について (該当項目に○をつけてください)

※複数の用具が関連する場合には、用具ごとに1枚ずつ記入してください。ただし、共通する項目は空欄でかまいません

用具		メーカー・型式	
レンタル・所有	レンタル 備品 所有	用具の使用開始 時期	年 月 最終点検時期 年 月

## 3. 発生状況について (該当項目に○をつけてください)

発生日時	年 月 日 時 分頃	発生時の環境要因 (特筆すべき状況)	猛暑・極寒・大雨・強風 大雪・その他（
発生場所	施設内：居室・食堂・トイレ・浴室・洗面所・エレベータ・廊下・娯楽室・園庭、ロビー 自宅：自室・食堂・居間・トイレ・浴室・洗面所・廊下・階段・玄関・庭 公共の場所：歩道・道路・階段・エスカレータ・エレベータ・駅・その他（		
発生時の利用者 の行為または ケアの内容	基本行為：洗面・整容・清拭・着替え・体位変換・食事・排泄・入浴 家事：買物 調理 ・洗濯・ 掃除 その他（ 移乗：【 】から【 】へ 移動：歩行・車いす・その他（ その他：レクリエーション・機能訓練・その他（		
事象の内容	状況：【自由記述：発生事象に誰が関わったかがわかるように記述してください】		
事故 ヒヤリハット 【いずれかに○】	分類：【ヒヤリハットの場合は想定】 転倒・転落・打ちつけ・挟み込み・衝突・誤 嚥・誤飲・異食・溺水・火傷： その他（ 結果：【ヒヤリハットの場合は想定】 利用者：通院（なし・1回・継続）・入院・死亡 介助者：通院（なし・1回・継続）・入院・死亡 第三者：通院（なし・1回・継続）・入院・死亡 物品の破損（ その他（		

## 4. 利用者について (該当項目に○をつけてください)

利用者に関する情報							
性別	男性	女性	年齢	歳			
ADL	自立歩行 杖歩行 車椅子 その他（						
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5 その他
認知症高齢者の 日常生活自立度	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV M

## 発生時の介護者に関する情報 (情報が得られなければ空欄でよい)

職種	利用者の家族 続柄（ ホームヘルパー・介護福祉士・介護支援専門員・その他（						
介護経験年数	年	性別	男性・女性	年齢	歳		

## 5. 事故への対応について (該当項目に○をつけてください)

当事者への対応	利用者(家族)への説明・自宅訪問・病院への付き添い・見舞い・その他( )
直後の連絡先	病院・家族・メーカー・介護支援相談員・行政・国保連・その他( )
調査方法	現場視察・関係者ヒアリング・利用者ヒアリング・同製品での検証・その他( )
事例情報の取り扱い	事例の周知・対策検討・改善案の周知・対策の実施・研修への反映・その他( )
用具の最終対応	用具利用中止・機種変更・部品交換・修理(代替品)・メーカーへの連絡・利用用具の変更・その他

## 6. 想定される原因と対策について (該当するものに○をつけてください)

<b>想定される原因</b> <small>※まず、該当する問題の区分にマークする。          ※問題の内容について、例のうち該当するものに○。なければ、右欄に記入。          ※複数に○を付けた場合、特に重要なものに下線を引く</small>	<b>人</b>	<input type="checkbox"/> <b>介護者の問題</b> <small>例: 思いこみ          確認・観察不十分          知識・技術の不足・誤り          体調不良・疲れなど          イライラ・緊張・慌てた          他に気を取られていた</small>	<input type="checkbox"/> <b>利用者の問題</b> <small>例:          予測不能な動作をした          体調が悪かった</small>
	<b>もの</b>	<input type="checkbox"/> <b>用具の設計・構造</b> <small>例: 操作困難・わかりにくい          動作が硬い・力を要する          不安定          マニュアルの不備</small>	<input type="checkbox"/> <b>用具の調整状況</b> <small>例:          調整ができていない          用具の調整が不適切</small>
		<input type="checkbox"/> <b>用具の整備状況</b> <small>例: 整備が不十分          整備が不適切          故障していた</small>	<input type="checkbox"/> <b>用具と利用者の適合性</b> <small>例:          利用者の状態と不整合          生活環境と不整合</small>
	<b>環境</b>	<input type="checkbox"/> <b>環境</b> <small>例: 照明が暗かった          足場が濡れていた          段差があった          足場が不安定          十分な空間がなかった</small>	<input type="checkbox"/> <b>状況</b> <small>例: いつもと違う方法          連携・コミュニケーション不足          作業中断          作業の同時並行          無理のある作業          災害時・緊急時</small>
<b>事後の対応</b>	対利用者: 対メーカー: 対行政:		
<b>今後の再発防止策 改善策</b>	対策1:	実施計画(担当者、スケジュール)	
	対策2:	実施計画(担当者、スケジュール)	
<b>行政、国保連等からの指導、助言内容</b>	( )より 内容:		
<b>損害保険利用の有無</b>	有	利用予定	無
	<b>補償、弁償金額</b>		円

## 7. その他

<b>気づいたこと・感想など</b>	<b>【自由記述】</b>
--------------------	---------------

## 福祉用具の利用に関わる事故・ヒヤリハット事例 対応状況調査シート

※様式1で報告いただいた事例について、特に「用具選定」「利用指導」の面からの対応状況や教訓についてお聞きするものです。必ず事例番号をご記入下さい。

## I. 福祉用具選定における事業者としての対応について、当てはまるものに○を付けて下さい。

<p>問1. 様式1でご回答いただいた事例では、福祉用具選定の面で改善余地がありましたか。</p>	<p>1. 用具の選定に改善の余地があった。 →問1-1へ 2. 用具選定には改善の余地はなかった。 →問2. へ</p>
<p>問1-1. どのような改善の余地があったと思いますか。 (複数回答可) →回答後、問1-2へ</p>	<p>1. 利用者の身体寸法に、より適した選定 2. 利用者の筋力や身体能力に、より適した選定 3. 利用者の理解力を踏まえた選定 4. 利用者の生活や周囲の環境を踏まえた選定 5. 利用者の意向を踏まえた選定 6. その他 (具体的に )</p>
<p>問1-2. 最適でない選定となった原因・理由について当てはまるものを選んで下さい。 (複数回答可)</p>	<p>1. 利用者の動作や行為は想定できないものであった。 2. 利用者および利用者の状況をよく知らないPTやOTにより選定された。 3. ケアマネジャーのみの判断により決定された。 4. 本人や家族の意向が強かった。 5. 利用者の状態や生活環境に関する情報を十分に把握していなかった。 6. 用具の性能や操作方法、特性などについて十分に知らないことがあった。 7. ほかに選択の余地がなかった 8. その他 (具体的に )</p>
<p>問2. 事例を踏まえて、福祉用具選定の面で改善点はありますか。</p>	<p>1. ある →問2-1へ 2. ない →問3. へ</p>
<p>問2-1. 福祉用具選定についてどのような改善点が考えられますか。具体的に記入してください。 →回答後2-2, 2-3へ</p>	
<p>問2-2. あなたの事業所では、2-1でお答えいただいた改善点を実行していますか。あるいは実行する予定がありますか。</p>	<p>1. すでに実行している。 2. 実行に向けて準備している。 3. 機会があれば実行する。 4. 実行する予定はない 5. 未定</p>
<p>問2-3. 2-2のご回答の対応で、同様の事故やヒヤリハットが防げると思いますか。</p>	<p>1. 確実に防止できる 2. おそらく防止できる 3. 防止できる場合もある 4. あまり防止できない (知っておく必要はある)</p>

Ⅱ. 利用指導における事業者としての対応について、当てはまるものに○を付けて下さい。

<p>問3. 様式1でご回答いただいた事例では、利用指導の面で、改善の余地がありましたか。</p>	<p>1. 利用指導の面で改善の余地があった。 →問3-1へ 2. 利用指導には改善の余地はなかった。 →問4.へ</p>
<p>問3-1. どのような改善の余地があったと思いますか。 (複数回答可) →回答後、問3-2へ</p>	<p>1. 伝えるべきことが十分に伝わっていなかった。 a. 用具の特性    b. 使用方法    c. メンテナンス方法    d. 注意事項 e. その他(具体的に ) ) 2. 説明が必ずしも十分とはいえなかった。 3. 指導内容に必ずしも適切でない部分があった。 4. 利用者や家族が利用指導の内容について十分に理解していなかった。 5. 利用者や家族が利用方法を誤解していた。 6. その他の理由(具体的に ) )</p>
<p>問3-2. 利用指導が適切でなかった原因・理由について、当てはまるものを選んで下さい。(複数回答可)</p>	<p>1. 利用者の動作や行為は想定できないものであった。 2. 利用者の状態や生活環境に関する情報を十分に把握していなかった。 3. 用具の性能や操作方法、特性などについて十分に知らないことがあった。 4. 利用指導に十分な時間をとることができなかった 5. その他(具体的に ) )</p>
<p>問4. 事例を踏まえて、福祉用具の利用指導の面で今後の改善点がありますか。</p>	<p>1. ある 問4-1へ 2. ない</p>
<p>問4-1. 福祉用具の利用指導についてどのような改善点が考えられますか。具体的に記入してください。 →回答後4-2, 4-3へ</p>	
<p>問4-2. あなたの事業所では、4-1でお答えいただいた改善点を実行していますか。または実行する予定がありますか。</p>	<p>1. すでに実行している。 2. 実行に向けて準備している。 3. 機会があれば実行する。 4. 実行する予定はない 5. 未定</p>
<p>問4-3. 4-2のご回答の対応で、同様の事故やヒヤリハットが防げると思えますか。</p>	<p>1. 確実に防止できる 2. おそらく防止できる 3. 防止できる場合もある 4. あまり防止できない(知っておく必要はある)</p>

これでおわりです。ご協力ありがとうございました。